

令和 3年度

事務事業評価表 ( 令和 2年度 の実績評価)

記入年月日  
令和 3 年 4 月 1 日

事務事業名		災害対策事業				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	030102000687
						単独/補助	単独	所属課	020801
政策体系		政策体系上の位置付け						防災課	
総合計画の施策名		0301 消防・防災対策の充実						課長名	
政策名		03 安全安心な暮らしのまちづくり						グループ	
施策名		01 消防・防災対策の充実						担当者名	
手段名		02 ②消防防災体制の強化						防災	
		財務会計上の位置付け				事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計	単年度繰返し ( 年度~ )	
	01	09	01	04	01	00	災害対策事業	☞ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入	
法令根拠	災害対策基本法								

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
土砂災害を含む風水害及び震災などの災害に対する警戒、応急対策及び災害復旧を行う。基本的には桜川市地域防災計画に基づき行動することとなるが、災害発生直後の行動は職員参集基準や初期初動体制に基づき対応にあたる。災害対策本部の設置については災害対策本部設置規定が定められており、これに基づいて対応することになっている。また、令和2年度は災害時の避難情報等の伝達手段として、防災アプリの整備を行う。	災害が発生しそうな場合、また発生した場合に地域防災計画に基づき、災害対応を行う。 防災アプリの整備及び運用。

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	01年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (計画)	04年度 (目標)	05年度 (目標)
地域防災計画、職員参集基準、初期初動体制及び災害対策本部規定に基づき、災害対策を行う。	災害警戒本部設置回数	回	2.00	0.00	1.00	1.00	0.00
	災害対策本部設置回数	回	1.00	0.00	1.00	1.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	01年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (計画)	04年度 (目標)	05年度 (目標)
市民	人口	人	39,692.00	38,905.00	38,118.00	37,331.00	36,544.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	01年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (計画)	04年度 (目標)	05年度 (目標)
市民の生命及び財産、生活を災害から守る。	災害に対して備えている人の割合	%	76.20	78.00	79.00	80.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入量	事業費内訳	国庫支出金	千円	0	69,214	0	期間限定 総投入量
		県支出金	千円	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	
		使用料・手数料	千円	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	
		一般財源	千円	10,973	7,578	14,793	
		事業費計 (A)	千円	10,973	76,792	14,793	
		正規職員従事人数	人	3.00人	5.00人	5.00人	

02年度事業費 実績 (千円)

03年度事業費 予算 (千円)

01 報酬	2,128		01 報酬	1,809	18 負担金補助及び交付金	1,059
03 職員手当等	284		03 職員手当等	1,473		
07 報償費	80		07 報償費	80		
08 旅費	69		08 旅費	66		
10 需用費	10,329		10 需用費	4,383		
11 役務費	164		11 役務費	254		
13 使用料及び賃借料	539		13 使用料及び賃借料	1,020		
14 工事請負費	7,034		14 工事請負費	3,182		
17 備品購入費	31,600		15 原材料費	70		
18 負担金補助及び交付金	24,565		17 備品購入費	1,397		
		合計			合計	14,793
			76,792			

事務事業名	災害対策事業	事務事業No.	30102000687	所属課	防災課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
災害対策基本法に基づき、市は地域防災計画を定めて適切な対応に当たる。桜川市では、地域防災計画を平成19年3月に策定したが、東日本大震災の教訓を受け平成25年3月に全面改定した。その後、災害対策基本法の一部改正されたことから、平成27年3月に地域防災計画の一部修正を行った。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
平成23年3月11日の東日本大震災や大規模な災害が全国各地で発生していることから、災害対策に対する関心が高まっている。					
【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。					

評価項目	
改革改善を行う	① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 災害対策基本法に基づく事業であり、市の政策に結びついている。
	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 災害対策は市の責務であり市民の生命財産を守るため、市の関与は妥当である。
有効性	③ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 災害時の初動対応等を見直すことにより成果を向上させることができる。
	④ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 市民の生命財産を守るため、災害対策は必要である。
	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性がありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 他に手段はない。
	⑥ 事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 災害対策に係る経費が主なものであり、削減はできない。	
⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)	
<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 全ての市民が対象である。	

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)													
(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括 (振り返り、反省点)												
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	地域防災計画が適切に実行されるように、初動対応等適宜見直す必要がある。また、市民一人一人が自助により災害に備える必要があることを啓発しなければならない。本市には土砂災害警戒区域等に指定されている箇所が156カ所あることから、土砂災害への備えを更に強化する必要がある。												
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)												
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる												
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策	<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td colspan="2">コスト</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	成果	向上	コスト		維持	削減	維持	増加	低下			
成果	向上		コスト										
	維持		削減	維持	増加								
	低下												
災害時における職員の初動体制を徹底して、避難所の開設や災害復旧に万全の態勢を整える。	(6) 事務事業優先度評価結果												
	成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ⑧												

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項	
(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続 (現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続 (改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>